

令和6年度 第2 愛心こども園全体の評価

毎年、年2回（7月、2月）に職員による自己評価を行い、園内勉強会にて自己の保育の実践（乳児の領域3つの視点、満1歳児以上からの「5領域」を理解し、指導にあたっているか）玉重福祉会の組織について等を理解しているか等を、職員一人ひとりの評価、反省をもとに、個の改善点や課題が保育を高めることに繋がるよう、子どもの成長や環境作りなど全職員で話し合いを持ちました。（下記の表に評価、取組み、状況及び課題記載）

尚、「保護者アンケート」も年2回実施し、子ども達の健やかな成長を願い家庭と園が連携を図り、お互いが子どもの育ちを共通理解できるよう取り組みました。保護者の声を前向きに受け止めると共に様々な声をいただく中で、職員一同励みになっています。

令和6年度の評価をもとにさらなる「教育・保育」の向上及び職員の資質向上に努めていきたいと思ひます。

※「保育所保育指針」の第1章 保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。

※保育所の自己評価 保育の質の向上を図るため、保育の計画や保育士等の自己評価を踏まえその結果を公表するよう努めなければならない。（一部省略あり）

自己評価の項目・評価（A：よくできている B：ほぼできている C：努力が必要）

自己評価の項目	評価	取組み、状況及び課題
1, 組織について (項目内容) ・園の教育・保育理念を理解 ・特色ある保育内容について ・組織の一員として ・情報の守秘義務について	B 上	・ほぼA評価に近いが、A評価に移行できるよう全体で確認しながら引き続き時間の確保、園の理念、教育方針等の理解を全職員で深められるようにしていく。
2、保育実践について (項目内容) ・環境構成について ・人権・人格を尊重した保育 ・子ども一人ひとりの理解 ・指導計画の作成 ・行事の取り組み方 ・教育・保育の記録 (振り返りについて) ・緊急時、災害時の対応	B 上	【課題】 ・未満児クラスの実践状況では、保育室の環境構成の工夫が必要 【改善策】 一人ひとりの成長発達に合わせて、保育室の環境を考えていく必要がある。そのためには保育について振り返りを行い、職員間で話し合いの時間を今後より多く設けるようにしていく 【人権・人格を尊重した保育】 一人ひとりの成長を把握し「無理」のない保育実践ができた。 価値基準について、新人・中堅・リーダー職員別での討議実施 ※価値基準とは・・・職員統一の共有・共感された保育実践の価値観 「玉重福祉会の理念・保育目標」の理解を図り、質の高い保育の実現、意識を高めた 指導計画を作成する時には「全体的な計画」を基本とし各年齢の「年間指導計画」より養護と教育が相互に関連ができるよう取り組んでいる。 ・行事の取組みでは、令和5年度の課題が改善され計画的に（時間の確保）余裕をもち、半数の教諭がA評価へと改善されている。
3 職員との関わり (項目内容) ・チームワークを大切にしている ・自分の意見や考えを伝え、悩み等を相談ができる ・報告・連絡・相談・確認について ・保育実践、保育の内容の共通理解を図り協働性を高めている。	A	・保育はチームワークが大切。意見交換の場では互いに尊重しあいながらわかりやすく丁寧に説明し笑顔で接する事が出来た。 【課題】 ・職員間で「報告・連絡・相談・確認」について、話したつもり〜等で、確認することを怠ってしまう事もあった。 【改善策】 同クラス内で共通理解を図り、今後も些細な事でも相談、確認をしていけるようにする。また、自ら聞いてみる、（確認）共通のノートに書き出し、目を通す等自己意識を高めるように努力する

4 保護者支援について (項目内容) ・園での様子を保護者に伝え子どもの成長を共有している ・保護者の子育てに対する不安に寄り添いながら応じている ・笑顔の対応、コミュニケーションを図るようにしている。	A	・ICT（コドモン）を活用し、今年度はドキュメンテーション（写真）配信等で保育の内容を明確に伝えられた。保護者と子ども達の成長を共有する事ができた（保護者支援に繋がる） ・個人面談等を通して、家庭での様子や園での様子を伝え、共有できたことは良かった ・保育参観後に保護者懇談会を行う。事前にどのような話し合いをしたいかアンケート形式ですすめた。参加が出来なかった保護者へもどのような内容の懇談会だったのかを紙面にて配布。子育ての悩みや育ちを話し合う事ができたと保護者より嬉しい声が聞けたことは良かった。
5.自己の向上について (項目内容) ・「健康・時間・仕事」を意識し専門性や技術を身につける努力をしているか ・仕事の優先順位を考え、時間を有効に使う等について ・前向きな姿勢で取り組む事が出来ている ・質の向上について研修や自己研鑽に努めている	B 上	・「キャリアアップ研修」では、令和6年度の受講率が高く評価できる - また、保育教諭をはじめ、調理員、事務員も受講し、専門性を高め各分野での学びを得た内容を発信する事が出来た。今後も充実した保育実践へと繋げられるよう園内勉強会等で発信できるよう努めていきたい。 【課題】 ・多くの職員が様々な課題を意識し取り組んでいるが、専門性を高める為の技術を身につけるなど不十分な点がいくつかある。今後の取り組み方を考える必要がある。 【改善策】 ・積極的に園外研修を受講するなど、興味のある分野を受講していく ・「健康・時間・仕事」の管理の自己意識を高める⇒「見える化」するなど明確にしていく
・保護者アンケートを通して 【前期9月】73%回答 【後期2月】82%回答	【課題】 ① 登降園時の駐車場の様々な案件について注意喚起をしてほしい ② 前期個人面談の日程を4月ではなく5月にして欲しい（全園児） ③ 運動会、発表会の保護者席の観覧について 【改善策】 ① 保護者向けに駐車場利用際の細心の注意事項を配信、配布。また、学童側の駐車場も修繕整備をし、利用しやすいように努めた。 ② 面談については、設定日時の理由を伝える。乳児は細やかな配慮が必要なため、入園後の4月に実施をしている事（保護者との共通理解を図る目的）5月実施については（2～5歳児）園生活の様子等を伝え合う。尚、面談設定は個別に対応ができる事を伝える。 ③ 観覧席については、全保護者が平等に観覧できるよう入れ替え制（交代制）等検討する 【評価】 ★ 園内・外が、いつも清潔にされて気持ちがいい ★ 園長先生をはじめ職員一人ひとりが笑顔で気持ちよくあいさつをしてくれ、子どもの名前を呼んでくれて、園での様子を教えてくれるので嬉しい。 ★ 子どもが主体となって「誕生会」「お別れ会」などの計画を子ども同士で進めドキュメンテーション（写真）で配信して頂き成長がみられ嬉しく思う。また、誕生会で頂く園長先生からのお祝いメッセージ（保護者向け）も励まされます。子ども達だけでなく保護者にも日々あたたかい眼差しでみていただいたり、ありがとうございます。 ★ 食育に力を入れて頂き、栽培した野菜の話を聞かせてくれ、三大栄養素について幼いながらも理解している子ども達に嬉しく思う。 ★ 家庭では経験できない季節行事に関する話を教えていただき、おいしい会（食育活動）でも、子ども達に食の大切さを話していただき毎回楽しみにしています。	

保護者の皆様には、園の教育・保育にご理解とご協力をいただきありがとうございました。

おかげさまで、令和6年度も無事に過ごす事ができました。今後も保護者様と一緒に子ども達の健やかな成長のために連携しながらより良い教育・保育、温かい関わりができるよう努めて参ります。